

広

報

お知らせ版

薩摩

摩

広報さつませんだい

2018

12月

No.341



太古の恐竜が生息した島

化石講演会

11月10日(土)、上甕老人福祉センターで熊本大学大学院のこまつとしふみ小松俊文准教授による化石講演会が開催されました。

上甕島で初めて見つかった化石は、約7千万年前に生息していた、体長が10m以上ある植物食恐竜ハドロサウルス類のもので、河川近くの湿地帯に生息していたことなど、当時の上甕島の環境も踏まえた講演に、約80人の参加者は、興味深く聴き入っていました。



より良い地域づくりのために

11月7日(水)、川内文化ホールで48地区コミュニティ協議会会長会と女性チャレンジ委員会との合同で、より良い地域づくりについての研修会が行われました。

参加者らは、地域の気になることをカードに書き出しながら、男女共同参画の視点に立った、より良い地域づくりへの意見や人権を尊重することの大切さを共有しました。



潮風・爽快・かける

甕大明神マラソン大会

11月18日(日)、上甕町で第26回甕大明神マラソン大会が開催され、島内外から約410人のランナーが参加し、甕島の潮風を受けながら快走しました。

10km、5km、3km、1km、ファミリーのコースがあり、自己タイムの更新を狙う人や楽しみながら走る親子など、参加者は自分のスタイルに合わせて汗を流しました。

生涯 自分の歯で

8020運動表彰



11月10日(土)、総合福祉会館で社会福祉・ボランティアフェアが開催され、その中で、「8020運動高齢者よい歯の表彰」が行われました。

これは、80歳以上で自分の歯が20本以上あり、生涯を通じて自分の歯で食べることができる口腔内の優れた方を表彰するもので、45人が受賞されました。

てらやまんちオータム

フェスタで秋を体感



11月11日(日)、少年自然の家で、てらやまんちオータムフェスタが開催されました。

芸術・スポーツ・食欲の秋にちなんだ創作・体験活動やフリーマーケット、マジックショーなどの盛りだくさんの内容に、来場者の笑顔と歓声に包まれた一日となりました。